

1. 2023 年度エコドライブシンポジウム開催概要

2023 年 11 月 28 日千代田区立内幸町ホールにて、エコドライブ普及推進協議会、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団共催で、『2023 年度エコドライブシンポジウム～地球と走ろう環境にやさしいエコドライブで～』を開催しました。

取組事例として南信州広域タクシー有限会社、株式会社エコワスプラント、株式会社 DATAFLUCT、東和通商株式会社から、それぞれの取組の概要、現状や成果、今後の課題などについてご紹介をいただきました。

(1) 開催概要

- 日 時：2023 年 11 月 28 日 (火) 13:30 ～ 16:05
- 場 所：千代田区立内幸町ホール (東京都千代田区)
- 主 催：エコドライブ普及推進協議会
公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
- 参加者数：約 85 名

(2) プログラム

1) 開会挨拶

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団 会長 岩村 敬
国土交通省 総合政策局 次長 岩城 宏幸 氏
環境省 水・大気環境局 モビリティ環境対策課長 酒井 雅彦 氏

2) 2023 年度エコドライブ活動コンクール 表彰式

国土交通大臣賞： 1 件
環境大臣賞： 1 件
審査委員長特別賞： 2 件
優秀賞： 6 件

3) エコドライブの取組紹介

- ① 2023 年度エコドライブ活動コンクール事業部門
国土交通大臣賞受賞事業者の発表
『公共交通からの脱炭素化をめざして
～ゼロエミッションタクシーの実現とエネルギーの地産・地消を求めて～』
南信州広域タクシー有限会社 専務取締役 佐藤 敦史 氏
- ② 2023 年度エコドライブ活動コンクール一般部門
環境大臣賞受賞事業者の発表
『「やらされるエコドライブ」から「やりたいエコドライブ」へ』
株式会社エコワスプラント 代表取締役 浅尾 洋和 氏
- ③ 2023 年度エコドライブ活動コンクール支援ビジネス・ユニーク部門
審査委員長特別賞受賞事業者の発表
『データサイエンスでモビリティの脱炭素化を推進する”becoz drive”』
株式会社 DATAFLUCT 取締役 CSO 吉川 尚宏 氏
- ④ 2023 年度エコドライブ活動コンクール事業部門
優秀賞受賞事業者の発表
『国土交通大臣賞を目指して !!』
東和通商株式会社 取締役 三宮 英之 氏
係長 花室 詠都 氏

<会場写真>



会場



開会挨拶（エコモ財団）



開会挨拶（国土交通省）



開会挨拶（環境省）



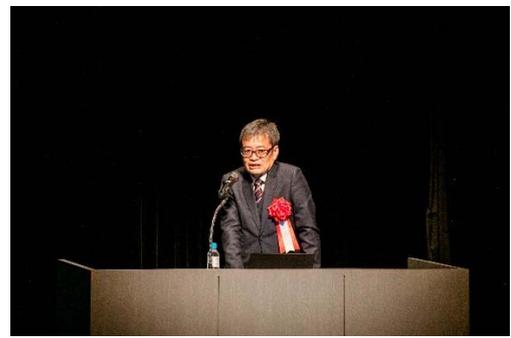
国土交通大臣賞授与



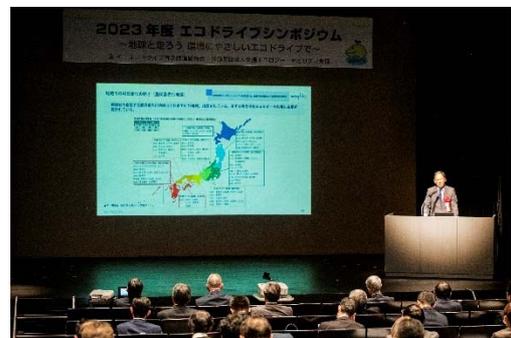
集合写真



国土交通大臣賞受賞事業者の発表（南信州広域タクシー有限会社）



環境大臣賞受賞事業者の発表（株式会社エコワスプラント）



審査委員長特別賞受賞事業者の発表（株式会社 DATAFLUCT）



優秀賞受賞事業者の発表（東和通商株式会社）

2. 2023 年度エコドライブ活動コンクール表彰式

○国土交通大臣賞

事業部門 南信州広域タクシー有限公司

○環境大臣賞

一般部門 株式会社エコワスプラント

○審査委員長特別賞（2件）

株式会社 DATAFLUCT

飛鳥交通株式会社

○優秀賞（6件）

事業部門 東和通商株式会社

株式会社ロジパルエクスプレス

有限会社古川商事運輸 本社営業所

SBS 三愛ロジスティクス株式会社 山形営業所

一般部門 ネットヨタ山形株式会社

シスメックス株式会社



国土交通大臣賞：南信州広域タクシー有限公司



環境大臣賞：株式会社エコワスプラント

審査委員長特別賞：



株式会社 DATAFLUCT



飛鳥交通株式会社

優秀賞：



東和通商株式会社



株式会社ロジパルエクスプレス



有限会社古川商事運輸 本社営業所



SBS 三愛ロジスティクス株式会社



シスメックス株式会社



ネットトヨタ山形株式会社

3. エコドライブの取組紹介

① 2023 年度エコドライブ活動コンクール事業部門 国土交通大臣賞受賞事業者の発表

【南信州広域タクシー有限公司】

『公共交通からの脱炭素化をめざして

～ゼロエミッションタクシーの実現とエネルギーの地産・地消を求めて～』

南信州広域タクシー有限公司 専務取締役

佐藤 敦史 氏

<講演概要>

- ・南信州広域タクシー有限公司は、平成 16 年 2 月 1 日に設立した。現在の総社員数は 80 名、タクシー車両が 60 台。その他貸切バス 11 台、貨物車（霊柩車）1 台がある。
- ・平成 20 年 8 月にグリーン経営認証、令和 5 年 11 月に働きやすい職場認証を取得した。
- ・社内に中央安全衛生委員会、運輸安全マネジメント委員会、環境問題対策委員会の 3 つの委員会があり、エコドライブ活動に関わっている。
- ・運行管理者は「新人乗務員へのグリーン経営勉強会」「新人乗務員へのエコドライブ運転指導」「月間・年間の燃費改善数値目標の策定」「エコドライブ運転を行うための確実な点呼の実施」「エコドライブ運転行動目標の策定」「集団点呼時におけるエコドライブ教育指導」「燃費改善率からの表彰制度」などの取組を行っている。
- ・飯田市の飯田脱炭素社会推進協議会が独自の取組として実施している「南信州エコ・ドライブ 1000 人プロジェクト」へ全社員が参加している。
- ・エコドライブの実施や管理、車両の整備、社員の意識の改革など地道な活動を日々積み重ねた結果、それが「あたりまえ」にそして確実に実行できるようになり、その先にある新たな何かをもとめて、次のステップへ進むことを始めた。
- ・車両の 97%を環境にやさしい次世代自動車や低排出車への代替を実施しており、現在では所有台数 60 台のうち 58 台が環境にやさしい車両となっている。
- ・自社の太陽光発電を活用し、夜間等の足りない電力は非化石証書を購入する、「南信州ゼロカーボン電気」の契約によりゼロエミッションタクシーを開始し、地域のデマンド交通「いいだ あい乗りタクシー」にて運行している。
- ・毎日の運行前点呼において、乗務員がエコ運転・安全運転の具体的な行動目標を設定し、運行後点呼において自己の一日を管理者と共に振り返り、次回の運転への助言を行っている。
- ・点呼実施者は、乗務員と対面し、デジタルタコグラフ自動日報に記載される急発進や急ブレーキ等、エコドライブに関係性のある運転行動を確認してエコドライブを評価し助言を行っている。
- ・EV 車両の給電システムを活用することで「災害時における電力の供給に関する協定」を締結した。災害時の電力供給に EV 車両の給電システムを活用した災害協定は全国初となる。
- ・EV 車両による事務所への電力供給や IP 無線などを利用することで災害時に本社事務所が活用できる体制を整えている。
- ・2050 年のカーボンニュートラルに向け飯田市と協力し、公共交通からの CO2 削減を推進し、CO2 を排出し営業する全ての公共交通事業者の「先導役」になっていくことを約束する。

② 2023 年度エコドライブ活動コンクール一般部門
環境大臣賞受賞事業者の発表

【株式会社エコワスプラント】

『「やらされるエコドライブ」から「やりたいエコドライブ」へ』

株式会社エコワスプラント 代表取締役 浅尾 洋和 氏

<講演概要>

- ・事業内容は産業廃棄物中間処理業・収集運搬業。従業員数：82名で、環境省・国土交通省認可の建設廃棄物協同組合に所属しており、現在は代表取締役社長の浅尾が副理事長として活動している。
- ・エコドライブ活動コンクールには平成30年から応募しており初年度から優良賞を受賞した。最初は代表取締役社長の浅尾がトップダウンで始めた活動だが、徐々に従業員からのボトムアップも増えて毎年バージョンアップした結果、今回の環境大臣賞の受賞につながったと考えている。
- ・活動の体制ではボトムアップでの意見を吸い上げることに今年最も注力した。
- ・環境管理責任者が前年度の実績値を基に、事業所別の環境管理実施計画書を作成し、その中のCO2削減の中にエコドライブ活動がある。
- ・エコドライブ活動には健康経営がとても重要であり、ゆとりが生まれ過重労働事故や焦りによる危険運転が減少するという考えから、安全衛生委員会にて安全・健康管理体制の構築をしている。
- ・雇用環境状況を良くすることで「やらされるエコドライブ」から「やりたいエコドライブ」へとドライバー意識改革を考えながら活動を行ってきた。
- ・「何故エコドライブが必要か？」ということを考えてもらうために入社してからすぐに地球温暖化のことなどの教育を実施している。
- ・部門別に環境方針を立て実行し、環境方針は部署全体で考え、部門長が活動方針を取りまとめている。
- ・エコドライブに関する教育資料はドライバーマニュアルを作成し、入社時だけでなく内容が変更になるたびに全ドライバーに配布・指導している。
- ・建設廃棄物協同組合において、浅尾が主体となってエコドライブビデオを作成し、業界全体でエコドライブに取り組んでいこうという活動を行っている。
- ・全社員に対してエコ検定の取得を推奨し、環境意識の向上を図っている。
- ・テレマティクスの活用は重要だと考えており、様々なデータをテレマティクスで管理している。また、イベント化ということで「チャレンジ無事故180日」等の参加型イベントを開催している。
- ・動態管理システムを導入し、無駄な走行がないかについても確認しCO2排出量の削減に取り組んでいる。また、廃棄物の中に異物が入っていると返却する必要がありその分走行距離が増えてしまうため、適切な分別を可能とする「分別ハンドブック」を作成し、分別勉強会を開催するなどして返却削減に取り組んでいる。
- ・エコドライブ活動によって事故が減少し保険料金が大幅に削減した。また、健康経営を取り入れながらエコドライブ活動を実施しておりドライバーの離職率が低下した。
- ・効率的な運行をしているドライバーに対しては、浮いた費用を計算して賞与として還元することで、走行距離や渋滞回避、モチベーションアップに繋げている。
- ・毎年取組の見直しを図り、また、新しい取組を採用することで、継続的にエコドライブ活動の発展・進化をこれからも続けていく。

<講演資料抜粋>

会社概要

商 号：株式会社 エコスプリント
資本金：6,000万円
設 立：1999年1月18日
営業開始：2003年7月15日
本社住所：東京都西多摩郡日の出町平井2-2-10
事業内容：産業用物流中継施設受入・収容施設受入
従業員数：82名（2023.3.31現在）
資本金：43名（2023.3.31現在）
所属団体：物流産業協同組合（協会 西多摩地区）
一般社団法人 東京都産業建設協会
〒ヤマトプレス：
未来のために、今やるべきことがある

主要顧客

人字ゼネコン・ハウスメーカーの新築受入物件率が92%を占めています。

環境活動・エコドライブ活動の沿革

平成15年：社内研修（社員8名受講）
平成18年：「産業用物流施設受入に関する環境評価制度」の提供業者認定を同年第1号で取得（エコアクション21認証）
平成20年：全車用GPS搭載
平成21年：東京都上野区有明町「産業用エコサポート」第1回公募において選定
平成24年：BCP（事業継続計画）を制度の総数第1号で策定（全車員ドライブコース「ドライブアクト」導入）
平成28年：工場・事務所間のLED化
平成29年：経済産業省認定（事業者評価制度）
平成30年：交通エコロー・モビリティ財団エコドライブ活動コンクール最優秀賞
平成31年：経済産業省認定（経済産業省） ※以降毎年認定継続中
令和元年：交通エコロー・モビリティ財団エコドライブ活動コンクール最優秀賞
令和3年：経済産業省認定（アクト500認定（経済産業省））
交通エコロー・モビリティ財団エコドライブ活動コンクール最優秀賞
令和4年：交通エコロー・モビリティ財団エコドライブ活動コンクール最優秀賞
令和5年：資源循環推進推進事業推進協議会会員第1号で取得（CO2削減力活用）
交通エコロー・モビリティ財団エコドライブ活動コンクール最優秀賞

エコドライブ活動

事業所全体の取組

環境管理責任者が前年度の実績値を基に、事業所別の環境管理計画を作成します。毎月開催する改善会議で、具体的な数値目標・達成状況を報告しています。

【重点施策】

- 持続可能な運転習慣構築
- 定額制カーシェアリング
- 教習記録の充実
- 効率的な運行ルート確立と確認
- 危険運転・急ブレーキ削減
- データの活用、フィードバック
- 教習車の導入

2022年度環境管理計画進捗

安全衛生委員会

安全・健康管理体制の構築
「健康次くして安全な」の考えのもと、食生活や健康管理改善目標（持病者の削減、有症状者数削減等）、業務インターバルの短縮（実働時間）達成に向けて対策一環として定めています。その結果、中より発生し被害が重なりやすいによる危険性が減少！

【安全運転・健康管理・法律遵守 = エコドライブ】

教育記録
「やらされるエコドライブ」から「やりたいエコドライブ」へ
「何故エコドライブが必要か？」から意識改革

2022年度業務改善目標状況

- 月間平均時労働時間：51.4時間
- 平均有症状者数：14.5名
- 危険運転率：16.4%
- 月間平均乗車数：226.7台

事故の減少や維持管理費の低減等の副次的効果

異なる事故減少に努めるが、事故の区分を1から含まで再分類し、再審計しました。

昨年より事故発生件数（現場内事故含む）**14件減少**

保険料金 **-54%**
メリット率 **+77%**

活動継続のための工夫・実用事項一覧

- 安全・健康・環境の3つの観点から活動を進めます。
- GPSによる位置情報や走行履歴の記録・分析により、危険運転の発生を抑制し、安全運転の促進を図ります。
- 危険運転の発生を抑制し、安全運転の促進を図ります。
- 危険運転の発生を抑制し、安全運転の促進を図ります。
- 危険運転の発生を抑制し、安全運転の促進を図ります。
- 危険運転の発生を抑制し、安全運転の促進を図ります。
- 危険運転の発生を抑制し、安全運転の促進を図ります。
- 危険運転の発生を抑制し、安全運転の促進を図ります。

毎年、必ず新しい取り組みを導入して進化を続ける → 意識の定着

<講演状況>



③ 2023 年度エコドライブ活動コンクール支援ビジネス・ユニーク部門
審査委員長特別賞受賞事業者の発表

【株式会社 DATAFLUCT】

『データサイエンスでモビリティの脱炭素化を推進する”becoz drive”』

株式会社 DATAFLUCT 取締役 CSO 吉川 尚宏 氏

<講演概要>

- ・会社として、B to C 分野での CO2 排出量の削減に向けて、実際に行動している人と意識がある人との乖離をインセンティブで埋める仕組みを検討し、消費者の行動変容を促し、かつ CO2 排出量の可視化ができる様々なソリューションを開発。
- ・運輸部門における CO2 排出量では、自家用乗用車の割合が高く、また地方ではマイカー利用者が多いことや、日本では車通勤率も高いことから自家用車の運転時における CO2 排出量の削減に取り組むことは、社会的にも大きな影響がある。
- ・環境省によりこれまでに 74 地域指定された脱炭素先行地域では EV の利用など、モビリティ分野に着目した事案も選定されてきているものの、国内での EV 普及率はまだ低いのが現状。
- ・カーボンニュートラルを目指し、環境価値流通プラットフォーム「becoz(ビコズ: be CO2 zero)」を立ち上げ、生活者の活動に伴う CO2 排出量の可視化を行い、削減のための行動変容を促す様々な IT サービスを提供。
- ・上記一例として、クレジットカードの購買データから金額ベースでの CO2 排出量を計算する「becoz card」等がある。
- ・スタートは B to B to E (従業員に対するもの)
- ・今回、パイオニア株式会社と協業し、社用車や自家用車通勤シーンにおける利用者の行動変容を促し、CO2 排出量の可視化・削減を支援するスマホアプリ「becoz drive」を開発。
- ・「becoz drive」の主な機能として、以下 3 点がある。
 1. パイオニア株式会社の蓄積データによる渋滞回避のための情報レコメンド、回避時 (エコドライブ時) ユーザー側にインセンティブを付与
 2. 車両情報による燃費 (カタログ燃費) の把握、パイオニア株式会社の保有する燃費・電費算出アルゴリズムと連動し、数秒単位で GPS の取得で燃費を場所ごとに把握し、可視化
 3. 専用デバイス不要でスマホがあればだれでも利用可能
- ・アプリの利用により「渋滞を回避すること＝エコドライブ (アイドリング時間の削減)」を実現する行動変容を促す。
- ・レコメンドに応じた場合、渋滞回避 (エコドライブ) を実行しようとした努力に対するインセンティブ+実際に渋滞回避を達成した場合のインセンティブという両面から利用者にメリットの提示をしている。
- ・アプリを利用することで、単なる CO2 削減だけでなく以下のベネフィットがある。
 1. コスト削減 (ガソリン代削減、安全運転における保険料・事故リスクの低減)
 2. 環境貢献 (scope1(社用車),scope3(通勤)の削減・従業員の教育)
 3. 働き方改革 (従業員エンゲージメントの向上、多様な働き方の実現)
- ・渋滞や混雑時間を回避する提案で、従業員に対する働き方改革の糸口となる。
- ・愛知県の製造業でプライム企業の株式会社 FUJI で導入の実証実験を実施。社用車を対象に従業員の移動から出る CO2 排出量の計測を行った。

<講演資料抜粋>

生活者の行動変容を促す仕組み

可視化だけでなく報われない、市民や業態者、企業を巻き込んだ行動変容のサービス。

エコドライブ促進

自動車通勤や社用車・公用車利用のCO2排出量可視化・削減支援サービス

becoz drive

コミュニティ
「会社」×「カラファン」

生活者のエコな行動をポイント化し、好きな企業・団体と共に、脱炭素アクションに参加できる

becoz challenge

エコドライブ促進「becoz drive」の概要

将来的にはB2B2Cへの展開を想定しているが、まずはニーズの明確化しているB2B（2C）の市場を狙いスタート。

becoz drive for employee

企業の車両運行によるCO2排出量可視化・削減支援サービス

エコドライブ促進「becoz drive」の概要

サービス利用の流れ、4STEPで簡単に利用できます！

- STEP 1** 専用アプリをインストールし、GPSトラッキングを開始。GPSトラッキングを開始するだけで、乗務員が自動で記録される。
- STEP 2** アプリからのリンクで、乗務員が乗務員IDを入力して、乗務員IDを登録する。
- STEP 3** 乗務員が乗務員IDを入力して、乗務員IDを登録する。
- STEP 4** 乗務員が乗務員IDを入力して、乗務員IDを登録する。

パイオニア社とDATAFLUCTのこれまでの取り組み

2022年8月にモビリティ領域の環境価値流通プラットフォーム構築に向けたパートナーシップに合意。

CO2排出量可視化・環境価値流通によるCO2削減効果実現インセンティブ付与

DATAFLUCT × **Pioneer**

環境価値流通プラットフォームの提供 企業 車の燃費・電力消費量を測定・可視化するPlomatix for Greenの提供

個人（自営業）、法人（社用車、リース、レンタカー、カーシェアなど）、取組（広域型）などのドライバー向け行動変容を促す

ポイント2 Plomatix for Greenにより精緻にCO2計算できる

数秒単位でGPSデータを取得しており、どこで燃費が悪かったのか詳細にわかる（緑=Good、オレンジ=Bad）

スズキ・プロlogue
テストドライブした結果

燃費

22.86 km/L

0.53 L

105 point

1.23 kg

燃費

20.36 km/L

0.7 L

88 point

1.64 kg

ポイント4 従業員にもベネフィットがある

ビジネスモデルは以下の通り、サービス利用料の一部が従業員向けのリワード層となっている。

<講演状況>



④ 2023 年度エコドライブ活動コンクール事業部門 優秀賞受賞事業者の発表

【東和通商株式会社】

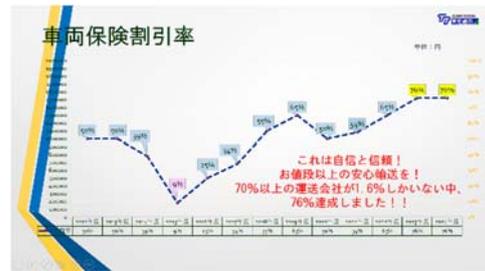
『国土交通大臣賞を目指して!!』

東和通商株式会社支配人 取締役 三宮 英之 氏
係長 花室 詠都 氏

<講演概要>

- ・東和通商株式会社は 1980 年設立、今期 44 年目で従業員数は 44 名。営業拠点は、静岡県富士市に本社営業所、兵庫県神戸市に神戸営業所の 2 営業所。
- ・一般貨物運送事業者としてステンレスタンクローリーで食品の液体原料を運搬。主な取扱貨物は液糖類、酒類、醤油・みりん・酢などの調味液、ミネラルウォーター等。
- ・経営計画発表会では、社長から全社員へ経営計画書の内容を説明し、さらに各営業所の朝礼での経営計画書の読み上げを実施。会社の方針や目標を周知徹底することで、一人ひとりがプロドライバーとして高い意識を持ち、会社全体として積極性や主体性をもってエコドライブ活動に取り組む企業文化を醸成。
- ・班ごとにエコドライブや、安全運転のノウハウを教えあう文化が根付いており、乗務員間で燃費改善や、アクセルを踏み込まなくても安全に合流できる確認方法などの情報交換を日常的に実施している。
- ・班ごとのグループ討論会も行っており、安全・エコドライブの診断が出来るテレマティクス機器（いすゞ自動車：みまもりくん）を導入。点数アップ、事故削減、燃費改善などについて議論し、エコドライブのノウハウ等を積極的に展開するよう促すことにより、乗務員のモチベーションアップを図る。
- ・今年度から新たな取り組みとして、エコドライブ 10 のすすめに基づき、全社員のマイカー保有者に対し、マイカーエコドライブチェック（年 3 回実施）を開始。各個人のマイカーに対する省エネ度への意識向上を目的に取り組む。
- ・年に 1 回、全営業所合同で行われる合同研修会では、エコドライブ活動コンクールの本年度の結果を社長が発表し、来年に向けた更なるエコドライブ活動の取り組みを全社員に周知。
- ・テレマティクス機器データの点数の常態化を受け、レベルアップのため要因分析を実施。新たな評価項目を追加し、更なる個人へ見える化を実施。点数の低い乗務員に対して原因のフィードバックを行い、結果を点呼室に掲示。
- ・社内表彰の充実として、無事故表彰制度を年に 1 回表彰（昨年実績 15 名）、また毎月テレマティクス機器の点数による表彰、およびホームページ上で毎月表彰した方をご家族様専用で随時更新し掲載。
- ・2019 年度より、テレマティクス機器の表彰に関して、乗務員がやさしい運転をした証として、ご家庭にお米と QUO カードを贈呈するユニークな取り組みを実施。家庭の中でやさしい安全運転啓蒙を継続し続けることを目的としている。
- ・スクールゾーン等のこども達への交通安全啓蒙に活用できるような、5 年間の子供たちが対象となった交通事故をグーグルマイマップ化したものを作成。交通弱者を守り、富士市の実用的な「コストのかからない宝物」にしていれるよう貢献。
- ・静岡県トラック協会富士支部様主催の、トラック交通安全教室に参加し、地域の子供たちと一緒に啓蒙活動を実施。
- ・取り組みの継続に伴い、事故件数も減少し、保険料率も割引率上限の 76%を達成。

<講演資料抜粋>



<講演状況>

